

ハイバイ「おとこたち」
4月4日(月)～17日(日) シアターイースト 詳細はP9へ



撮影:鬼野若菜

四者四様の盛衰と死期から伝わるリアリティ

2014年に上演し、チケット完売につき観られなかった人が続出したという人気作が早くも再演。職業もライフスタイルも異なる4人の「おとこたち」の盛衰と死期を描いており、岩井秀人による綿密な取材が活かされたリアリティ溢れる物語に仕上がっている。劇団は話題の新作『夫婦』を上演したばかりで、多方面から注目される存在だ。

文: 園田喬し(演劇ライター/『BITE』編集長)

作・演出: 岩井秀人

出演: 安藤 聖 / 菅原永二 / 永井若葉 / 平原テツ / 用松 亮 / 松井 周

主催: 有限会社quinada/ハイバイ
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

モダンスイマーズ「嗚呼いま、だから愛。」
4月22日(金)～5月3日(火・祝) シアターイースト 詳細はP10へ



撮影:金子裕美

身近な“戦争”に潜む愛を描いた意欲作

骨太な戯曲に定評のある劇作家・蓬萊竜太が作・演出を務めるモダンスイマーズの新作は夫婦間ディスコミュニケーションを描いた愛憎劇。1LDKのマンションに渦巻く負の連鎖は、現代の日本人にとって最も身近な“戦争”のひとつなのかもしれない。結末に浮かび上がる愛の形に、蓬萊の想いや祈りを感じられる一作になるだろう。

文: 園田喬し(演劇ライター/『BITE』編集長)

作・演出: 蓬萊竜太

出演: 川上友里(はえぎわ) / 古山憲太郎 津村知与支 小椋 毅 生越千晴

西條義将(以上モダンスイマーズ) / 太田緑ロランス / 奥貫 薫

主催: モダンスイマーズ
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus 口口「あなたがいなかった頃の物語と、いなくなってしまうからの物語」
5月20日(金)～29日(日) シアターイースト 詳細はP12へ



若さと成熟のベストタイミング

2011年の芸劇eyes番外編『20年安泰。』以来の登場となる口口。その間、劇団も個々のメンバーも順調に活躍しているが、とりわけ作・演出の三浦直之はこの1～2年で急成長、今年の岸田國士戯曲賞の最終ノミネートに選出された『ハンサムな大悟』(上演は昨年)だけでなく、優れた作品を次々と発表している。入口は甘酸っぱいラブストーリー、出口は深淵な哲学という世界観は、新作でも発揮されるだろう。

文: 徳永京子

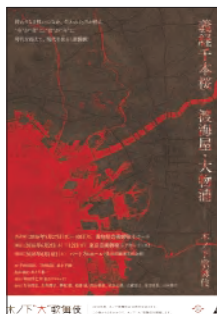
脚本・演出: 三浦直之

出演: 板橋駿谷 / 亀島一徳 / 篠崎大悟 / 島田桃子 / 望月綾乃 / 森本 華(以上口口) /

伊東沙保 / 西田夏奈子 / 古屋隆太(サンプル / 青年団)

主催: 口口/さんかくのまど
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus 木ノ下歌舞伎「義経千本桜一渡海屋・大物浦一」
6月2日(木)～12日(日) シアターイースト 詳細はP13へ



考え抜かれた現代感覚で伝える、歌舞伎の魅力

昨年の芸劇eyesで5時間の通し上演を敢行した『三人吉三』が、読売演劇大賞の上半期ベスト5に選出されるなど高い評価を得た木ノ下歌舞伎が、今度はeyes plusの枠で芸劇に帰ってくる。演目は、歌舞伎を構成する「音楽」「舞踊」「芝居」の魅力がバランスよく配分されている『義経千本桜』。その特性を生かすため、2012年には、各場ごとに異なる演出家を配置して上演したが、今回はその第一幕目のみをピックアップ。演出は、戯曲の社会性を俳優の動きに変換できる多田淳之介。

文: 徳永京子

作: 竹田出雲 / 三好松洛 / 並木千柳 補綴・監修: 木ノ下裕一 演出: 多田淳之介

出演: 大石将弘 / 大川潤子 / 榎原 毅 / 佐藤 誠 / 佐山和泉 / 武谷公雄 / 立蔵葉子 /

夏目順也 / 山本雅幸

主催: 木ノ下歌舞伎
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇eyes 中野成樹+フランケンズ「えんげきは今日もドラマをライブする vol.1」
6月18日(土)～26日(日) シアターイースト 詳細はP14へ



撮影: 富田了平

2つのプログラムで体感する、2500年分、演劇の旅

もとの戯曲を、あえて誤読、曲解、拡大解釈、縮小化する大胆なアレンジを「誤意識(ごいやく)」と自称し、演劇の自由度を公演ごとに更新しているナカフラ(中野成樹+フランケンズの通称)。その個性が存分に発揮できる新シリーズが芸劇eyesで口火を切る。古今東西の名作戯曲をAプログラムでは3本、Bプログラムでは7～8本に分けて上演。ギリシャ悲劇から21世紀の日本まで、2500年の演劇史を一気に観るチャンス!

文: 徳永京子

演出: 中野成樹

出演: 村上聡一 福田毅 竹田英司 田中佑弥 鈴鹿通儀 洪雄大 石橋志保 小泉まき

齋藤淳子 北川麗 / 山田宏平 原田つむぎ(東京デスロック) / 小林美江 ほか

主催: 中野成樹+フランケンズ / 一般社団法人なかふら
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance Co.山田うん「Co.山田うん ダンスライブ with 芳垣安洋」
7月1日(金)～3日(日) シアターイースト 詳細はHPへ



群舞のうねりから新たに飛び出すダンスと音楽の競演

一昨年「春の祭典」「七つの大罪」公演が話題を集め、快進撃を続ける今ももっともテンションの高い人気ダンスカンパニーが再登場。芳垣安洋を中心とした実力派の音楽家たちによる即興的な音楽と屈指のうねりのような群舞からさらなる跳躍を見せる9名のダンサーが、緊張感漲るセッションを展開する。

文: 住吉智恵(アートプロデューサー/ライター)

振付・演出: 山田うん

出演: <ダンス> 荒悠平 / 伊藤知奈美 / 飯森沙百合 / 川合ロン / 木原浩太 / 小山まさし / 城俊彦 / 西山友貴 / 山田うん

<音楽> 芳垣安洋 / 高良久美子 / 太田恵資 / 助川太郎 ※出演者は日程により異なります。

チケット発売5月1日(日)

主催: 一般社団法人Co.山田うん
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance 束芋×森下真樹 映像芝居「錆からでた美」
7月8日(金)～10日(日) シアターイースト 詳細はHPへ



創作過程より

現代美術家・束芋が濃密な演出を手がける(映像芝居)

生年月日、出生地、血液型、三姉妹という共通点をもつふたりが互いの創作を重ねあわせた初演から3年。今回は「身体が映像を纏い、音楽に突き動かされるような体験をつくりたい」という束芋が、その強い想いを自らの演出に投影する。生演奏とダンスが入り乱れる(映像芝居)は濃密な情念の色に染められるはずだ。

文: 住吉智恵(アートプロデューサー/ライター)

構成・演出: 束芋

振付: 森下真樹

出演: 鈴木美奈子 / 田中啓介 ほか

チケット発売4月23日(土)

主催: 映像芝居「錆からでた美」実行委員会
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance カンパニーデラシネラ「ロミオとジュリエット」
7月15日(金)～18日(月・祝) シアターイースト 詳細はHPへ



ダンストリエンナーレトーキョー2012より

撮影: WLLA

中世の舞踏会や事件に立ち会える! 観客参加型の舞台

各地で再演を繰り返してきた本作。パントマイム出身の演出家による身体表現とプロダクトデザイナーが手がける動く舞台美術は、物語の中に蠢く身体の可能性を引き出し、舞台と地続きの場で事件に立ち会う観客の想像力を飛躍させる。小学校での上演では「ないものが見えた」と感動を呼んだ名作に再び期待が高まる。

文: 住吉智恵(アートプロデューサー/ライター)

原作: ウィリアム・シェイクスピア

翻訳: 松岡和子 演出: 小野寺修二 美術: 石黒 猛

出演: 斉藤 悠 / 崎山莉奈 / 王下貴司 / 大庭祐介 / 藤田桃子 / 小野寺修二

チケット発売6月12日(日)

主催: 株式会社アラシネラ
提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance 3公演セット券発売予定!(枚数限定) 詳細はHPへ